

## 高根学園保育所

(静岡県御殿場市)

## 施設紹介

高根学園保育所は「小さい時に学んだ精神は大人になっても変わらない。世の中をよくするには乳幼児期の教育が大切である」という賀川の精神によって昭和6年に創設されました。

2005年に完成した新園舎は大きなエメラルドグリーン屋根が目印。富士の裾野の風が吹きわたる自然に恵まれた環境の中、保育所では創立当時の精神を受け継ぎ、子どもたちの豊かな育ちをめざして保育に取り組んでいます。また毎日20組以上の親子が、園舎内に設けられた子育て支援センターを利用して利用しています。



静岡県御殿場市西田中 402-8 TEL: 0550-82-0539

賀川豊彦が神戸のスラムで活動を始めた後、賀川は無料診療所や無料職業紹介所、住宅改善、低金利金融機関などと共に、保育所と児童館の設置を提案していました。賀川と同志らの努力によってこれらはほぼ実現しますが、このうち児童館に関しては、夜学校を開設しただけで頓挫してしまいました。賀川の最初の弟子はこれを悔やみ、今は若い人たちに実施してもらいたいと言っています。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。



子どもの最善の利益を守るリーダー

賀川豊彦って  
どんなひと?

TOYOHICO  
KAGAWA

—児童委員の歌 賀川豊彦作

## 賀川の先駆的な 子育て支援の取組み

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように入力されているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)、②障